

ま え が き

鳥取県衛生環境研究所は、環境と県民の健康を守るために設置された研究機関です。

今日の重要な課題である環境問題にさらに積極的に取り組むため、平成14年度から名称を「鳥取県衛生環境研究所」と改め、機能を強化して平成14年7月に羽合町南谷に新築・移転しました。

現在、環境行政が直面している課題は、資源循環型社会の構築や自然との共生、地球温暖化の防止など数多くあります。今後の調査・研究の推進に当たっては、県民のニーズを的確に把握し、地域の大学や環境産業との産学官連携を強化するなど、地域における衛生・環境分野の中核機関として一層の戦略性が必要となっています。

さて、鳥取県では片山知事のもと、環境立県をめざしております。県庁が環境ISOを取得したのを皮切りに、グリーン購入の実施や鳥取県独自の環境マネジメント認定制度の創設など次々に新たな環境施策を展開しており、全国で初の鳥取環境大学も開学して2年目を迎えました。

このような状況の中、当研究所は、地球環境問題の研究機能や環境教育・学習機能を新設し、情報処理提供能力を大幅に向上させるなど、装いを一新して新築移転したところでもあります。

新しい研究所では、県民の皆さんにさらに開かれた研究所をめざすとともに、鳥取県の衛生・環境分野での中核的機関として、調査研究、試験検査、研修指導、情報収集・提供などに取り組んでいるところです。開所以来、これまでに2,000名を超える方々に見学していただいております。

また、この研究所は当所設計段階から太陽光エネルギーや地熱利用など自然エネルギーの活用、建設残土や汚泥リサイクル材の利用など徹底した環境配慮を行っております。できるだけ、自然系の材料を使用し、プラスチック等の化学製品の使用を極力抑えております。研究所全体がラボミュージアムとして、環境教育の教材になっておりますので、鳥取県へお越しの際には、是非ご覧いただきたいと考えております。

さらに、環境管理の国際規格であるISO14001の認証取得についても、平成15年度中の取得をめざして、準備を進めております。

本年報は、平成13年度に当所において実施した業務や調査研究の成果をとりまとめたものです。皆様方の業務の参考になれば幸いです。

平成15年3月

鳥取県衛生環境研究所

所長 澤田 勉